

県測量設計業協会

鶴翔高で出前講座

実技で魅力伝える

県測量設計業協会(安永幸信会長)は22日、阿久根市の鶴翔高校で第3回出前講座を開いた。実



指導を受ける生徒たち。阿久根市の鶴翔高校で

技を交えながら測量の魅力伝える、参加した総合学科環境緑地系列の2年生17人は興味を示していた。

出前講座は、測量技術の魅力と担い手(若手)

育成の一環として、同協会青年部が中心になって2017年度にスタート。冒頭、上野竜哉氏(新日本技術コンサルタント)

が「実践を踏んで測量に関心を持ってもらい、仕事を

選択する上での指標としてもらいたい」と挨拶した。

前半は、同校のロータリーで青年部と教員チームが速さと正確さを競うデモンストレーションのほか、6班に分かれて水準測量を実施。青年部員らの指導を受けながら、生

徒たちは真剣な表情で取り組んだ。

研修室で行われた後半は、これまで学んできた

工業用ドローンを使った測量や、電子平板測量の成果の対比、今回実施した水準測量の概要などを

青年部員が説明。生徒たちは青年部員らの説明に対し熱心に聞き入っていた。